

よみがえった『弥生の杜』

●発行日 平成23年(2011年)7月1日 ●発行所 朝倉市・朝倉市環境アクション協議会 かべ新聞編集委員会 〒838-0062福岡県朝倉市堤4-6 電話(0946-23-1153)(朝倉市 環境課)

平塚川添遺跡は、1902年に発見され、約10年後の2001年に平塚川添遺跡公園として開園しました。当時は、遺跡から見つかった骨や種子をもとに、水辺に育つハノンキのほか、クヌギ、シイ、コナラといったどんな木になる木などを約1万本の樹木が市民の協力も得て植えられました。また、福岡市の「メダカを守る会」からいただいた二ホンメダカを環境内に放流するなどしました。今、開園から約10年のときを経てようやく、弥生時代当時の「弥生の杜」がよみがえりました。



イスノキの花



王の群れ。



カワセミ



卵の花（ウツギ）



ビイチゴの咲く環境



五二

公園内には、弥生時代の植生を復元した「弥生の杜」があります。ほとんどの特が单木ではなく、このあたりの里山や神社などにあるイチイガシ、クヌギ、コナラなどの木々達です。

環濠に水を張り、樹木が大きく育つと、魚や鳥や虫などが棲み着くようになります。

水辺ではメダカ、フナ、アメンボ、カモ類やバン、カワセミなどが見られ、木々の中や草原にはヒドリ、ムクドリ、カササギ、ヒバリなど、空時には氣を付けている時にチヨ

環境に水を張り、樹木が大きく育つと、魚や鳥や虫などが棲み着くようになります。

水辺ではメダカ、フナ、アメンボ、カモ類やバラン、カワセミなどが見られ、木々の中や草原にはヒヨドリ、ムクドリ、カササギ、ヒバリなど、上空には気を付けていると時にチヨウガエンボウやハヤブサの姿が見られ

公園を管理する川端文化財係長（朝倉市）は、「10年を経てようやく、様々な種類の生物が活動できるのを実際に目でみることができます「自然公園」になってきたようです。今後も、貴重な文化遺産として、また、弥生の人々の生活や自然を肌で感じられる場所として存続していきたいと思います。」と評し、アーチを引いた。

**歴史講座や
自然観察・体験も**

The map shows the following locations relative to Kameyama City Hall (朝市役所) at the top center:

- R386**: A road running horizontally across the map.
- R322**: A road branching off from R386 towards the top left.
- 至北九州**: To the north, indicated by a red line.
- 至大分**: To the east, indicated by a red line.
- 至佐賀**: To the west, indicated by a red line.
- 至福岡**: To the southwest, indicated by a red line.
- 甘木鉄道**: A railway line running vertically through the center.
- 甘木駅**: The station on the railway line.
- 甘木川**: A river flowing from the bottom right towards the center.
- 平尾川**: A river flowing from the bottom left towards the center.
- 白石川**: A river flowing from the bottom center towards the left.
- 甘木川沿岸公園**: A park along the banks of the Kamegawa River.
- ビーガート甘木**: A building located near the railway line.
- 甘木歴史資料館**: A historical museum.
- ジムスコ**: A gymnasium.
- 甘木店**: A shop.
- 甘木町倉消防署**: A fire station.
- 大分道**: A road running diagonally from the top right towards the bottom left.
- 日本郵政**: Post office.
- 自販機**: Vending machine.
- スマートフォン充電器**: Smart phone charging station.

問い合わせ先 ☎(0946) 21-7966

環境保全活動紹介

秋月活性化研究会

「和の街秋月日本水仙の里づくり事業」



春は桜、秋は紅葉が楽しめる秋月に、冬も楽しめる花をということで、秋月活性化研究会（代表：三隅浩一、会員：19名）が、昨年12月、秋月の公共駐車場等に美花美化パンク等の協力で約1,500球の日本水仙の球根を植え込みました。秋月の伝統的な街並みに和水仙がよく似合います。野田真良事務局長は「町中を花で埋め尽くし、秋月の美化活動の一つとして訪れる人を温かく迎えたいのです。」と語っていました。

みんなで育てよう アグリト・プログラム



アダプト・プログラムとは、町を自分の子どものように大切にする、つまり町をそうじして、きれいにする制度のことです。平成23年3月5日、アクション協議会では、アダプト試行として、美花美化パンクと協同作業で、けやき通りの花壇3箇所に腐葉土入れ、花植え、看板作成をしました。今後は参加者を募集し、市のサポートのもと、市民の自主的な参加のもと、美化活動に取り組む計画をしています。